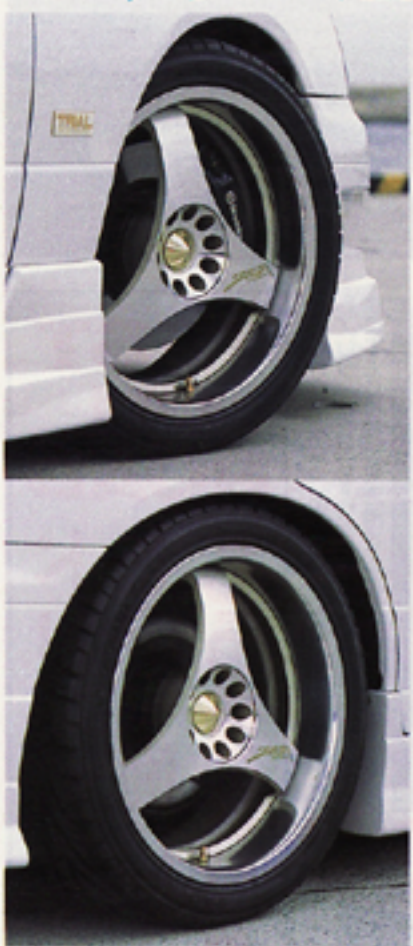


# リミット7000rpmまでの ガッチリ加速、 こりゃ～速いわ!!



ホイールはオリジナルブランドの、トライフォースゼルダ。色がシャンパンゴールド仕様のプレミアムだ。タイヤはアドバンネオバ。フロント235/40-18、リア255/35-18。



実際に乗っても速い。ゼロヨン仕様として伸び側減衰力をほぼ。ゼロに設定してるリアのクアンタムショックと、ATのキックアップのタイムミングも絶妙にマッチングして、グッノとアクセルを踏みつけると、そのままケツが。ビターッ。となったままズンズン加速していくのだ。

伸び側減衰を弱くするのはドラッグの定番だけど、シフト時のパワーの抜け具合とテールの沈み具合がマッチングしていいと、いつまでもフロントが。ビヨコタン、ビヨコタン。となってしまうのだ。このへん、ゼロヨン仕様としてはうまい仕上がりのだ。

しかもATを「POWER」モードにしておくと、レブリミットの7000rpmでキツチリとシフトアップする。で、4000rpmからブーストが急激に立ち上がってきて、グーッ。ときたすと、そのまま7000rpmまで。ガッッ。とキツチリ持ってかれるのだ。こりゃ速いわ!!

このとき、ブーストは約0・98kg/cm<sup>2</sup>までかかっていたから、だいたい400psちよつとかな。といったところだぞうだ。

それにしてもアクセルを抜けば、バビユッ。と(ブローオフが)叫ぶし、グウオロオオッ。って排気するマフラーだって、けっこうイイ感じの音。気分はなかなかハイですな。

「ま、アツビ半分、本当はそれ以上のクルマやねん。メーカーのやりたかったY33ってのは、本当はこないにたかったんやないかなって、想像しながら作っていったクルマや」とトリアールのポッキー牧原はいう。

んー、そうは思わないけど、レーシ一路線のエアロは新鮮、走りや速い!。裏ニスモ。とかあったら作りそうだな、こんなヤツ。